

報告事項

1. 令和4年度事業報告・公益目的支出計画実施報告の件

I 令和4年度事業報告

1. 事業内容

(1) 広報事業

1. 機関誌発行事業

月刊「畑地農業」NO.761号（4月）～772号（3月）を発行した。

発行部数：500部 購読件数：209件

2. ホームページ提供事業

畑地農業振興会ホームページを逐次更新し、当会の業務内容の発信に努めた。

<https://www.hatasin.or.jp>

(2) 調査研究事業

1. 自主研究事業

次の課題の実施に対して研究資金を助成した。

課題：「台地畑作地帯における耕土流出と土壌水分状態の関係に関する研究」

研究担当者および研究代表者：弓削こずえ 教授（佐賀大学農学部生物環境科学科）

2. 海外学術調査交流事業

海外の国や組織と畑地農業基盤整備に関する技術交流をすることにより、双方の技術レベルの向上を図ることとしている。本年度は、以下の活動を行った。

1) 国際かんがい排水会議国内委員会に協力し会費を支出した。

2) 新型コロナウイルスの影響で訪日等の活動はなかった。

3. 畑地かんがい研究集会事業

隔年開催であり、今年度は開催していない。

(3) 資格認定事業

1. 畑地かんがい技士養成講習・資格認定事業

畑地農業振興のため、畑地かんがい技術をはじめ、土壌、作物、営農理論など幅広い関連知識を講習し、高度な技術を有する畑地かんがい技士を養成する。

1) 畑地かんがい技士養成講習会：令和4年10月24日～10月27日の間、東京会場と新型コロナウイルス感染拡大防止のためWEBのハイブリッド開催とし、10月28日（金）、東京会場で技士登録資格認定試験を実施し、有資格者として38名を認定した（認定試験受験者数57名）。

2) 「令和4年度畑地化推進手法に関する調査検討業務」を農林水産省から請負、上記養成講習会にあわせて実施した。

(注) 畑地かんがい技士補養成講習会は、平成22年度より募集を廃止した。ただし、既に取得済みの本資格は存続する。

2. 畑地かんがい技士、技士補の登録業務

1) 本年度の畑地かんがい技士及び畑地かんがい技士補の新規及び更新登録を実施した。

		令和4年10月1日 登録(人)	令和5年3月1日 登録(人)	合計(人)
新規登録	技士	2	33	35
	技士補	—	—	—
更新登録	技士	38	218	256
	技士補	29	10	39
合計		69	261	330

令和5年3月1日現在の全体登録者総数 () は前年度

技士：1,451名(1,469)

技士補：266名(283)

計 1,717名(1,752)

2) 畑地かんがい技士、技士補登録者名簿(令和4年度版)を作成した。

(4) 調査研究受託事業

1. 受託調査研究事業

令和4年度に国等からの請負により実施した調査検討業務・事業は、6件であり、内容に応じて現地調査等を実施し、成果を取りまとめて報告書をそれぞれに提出した。

また、畑地かんがいに関する業務の内容の充実・質の向上を図るため、大学・研究機関への研究資金を支援する、受託調査研究事業連携研究(以下、「連携研究」という)を実施した。

2. 受託機器性能検討事業

なし

(5) 図書出版事業

在庫既出版物、「HATASIN on demand BOOKs」の販売を行った。

2. 各種委員会の開催状況

1) 畑地かんがい技士登録資格認定委員会 令和4年11月25日

3. 会員の状況

	令和3年 4月1日現在	令和4年 4月1日現在	令和5年 4月1日現在
会社会員	8	8	8
団体会員 (A)	3	3	3
団体会員 (B)	0	0	0
特別会員 (個人)	3 5	3 3	3 8
計	4 6	4 4	4 9

令和4年度

入会

特別会員 (個人) 7名 伊藤健吾、猪迫耕二、梶原義範、小林祐一
櫻井清一、原口暢朗、丸居 篤

退会

会社会員 1社 住化農業資材 (株)
特別会員 (個人) 2名 小林隆信、佐藤洋平

令和5年度

入会

会社会員 1社 若鈴コンサルタンツ株式会社

II 公益目的支出計画実施報告

特例民法法人から一般社団・財団法人への移行認可に伴い、法人に純資産額を基礎に計算した公益目的財産額がある場合、「公益目的支出計画」を策定し、従来の公益法人の税制上の優遇などにより内部留保した公益目的財産を本来の目的である公益目的事業に使用しゼロにすることとしている。

当振興会では、平成26年度当初の正味財産額54,037,795円を公益目的財産額として15年間以内で支出することとしており、対象となる事業は以下の3事業である。

- ①継続事業1（広報事業：機関誌発行、ホームページ提供）
- ②継続事業2（調査研究事業：自主研究、海外学術調査交流、畑地かんがい研究集会）
- ③継続事業3（資格認定事業：畑かん技士講習会、資格登録）

令和4年度の支出実績は年度の計画を上回り、令和4年度末をもって公益目的財産をすべて使い切ったことから、公益目的支出計画の実施を完了する。

公益目的支出計画実施報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

項 目		計画	実績	翌年度事業計画	備考
1. 公益目的財産額	①	54,037,795	54,037,795	54,037,795	平成26年度確定
2. 当該事業年度の公益目的収支差額	②=③+④-⑤	33,453,000	54,793,165	37,170,000	
(1)前事業年度末日の公益目的収支差額	③	29,736,000	46,022,774	33,453,000	
(2)当該事業年度公益目的支出の額	④	15,527,000	19,705,829	15,527,000	継続3事業
(3)当該事業年度実施事業収入の額	⑤	11,810,000	10,935,438	11,810,000	
3. 当該年度末日の公益目的財産残額	⑥=①-②	20,584,795	-755,370	16,867,795	
4. 2.の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要および理由 該当する継続3事業のうち、新型コロナウイルス拡大対策等により人件費等が増えたため、計画に記載した見込額と異なった。					

公益目的支出計画の完了予定事業年度末日	(1) 計画上の完了見込み	令和11年(平成41年)3月31日
	(2) (1)より早まる見込みの場合	令和5年(平成35年)3月31日

(参考)

項 目	前年度(令和3)		本年度計画(令和4)		翌年度計画
	計画	実績	計画	実績	
1.公益目的財産額	54,037,795	54,037,795	54,037,795	54,037,795	54,037,795
2.当該事業年度の公益目的収支差額	29,736,000	46,022,774	33,453,000	54,793,165	37,170,000
(1)前事業年度末日の公益目的収支差額	26,019,000	39,682,504	29,736,000	46,022,774	33,453,000
(2)当該事業年度公益目的支出の額	15,527,000	16,650,924	15,527,000	19,705,829	15,527,000
継1(広報事業)	5,205,000	5,306,422	5,205,000	6,796,364	5,205,000
継2(調査研究事業)	1,249,000	721,105	1,249,000	1,551,047	1,249,000
継3(資格認定事業)	9,073,000	10,623,397	9,073,000	11,358,418	9,073,000
(3)当該事業年度実施事業収入の額	11,810,000	10,310,654	11,810,000	10,935,438	11,810,000
継1(広報事業)	3,220,000	3,127,212	3,220,000	3,070,403	3,220,000
継2(調査研究事業)	0	0	0	0	0
継3(資格認定事業)	8,590,000	7,183,442	8,590,000	7,865,035	8,590,000
3.当該事業年度末日の公益目的財産残額	24,301,795	8,015,021	20,584,795	-755,370	16,867,795